

CentreCOM® 8224XL リリースノート

ファームウェアバージョン 1.2.9J


この度は、CentreCOM 8224XL(以下「C8224XL」または、「本製品」と略記)をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

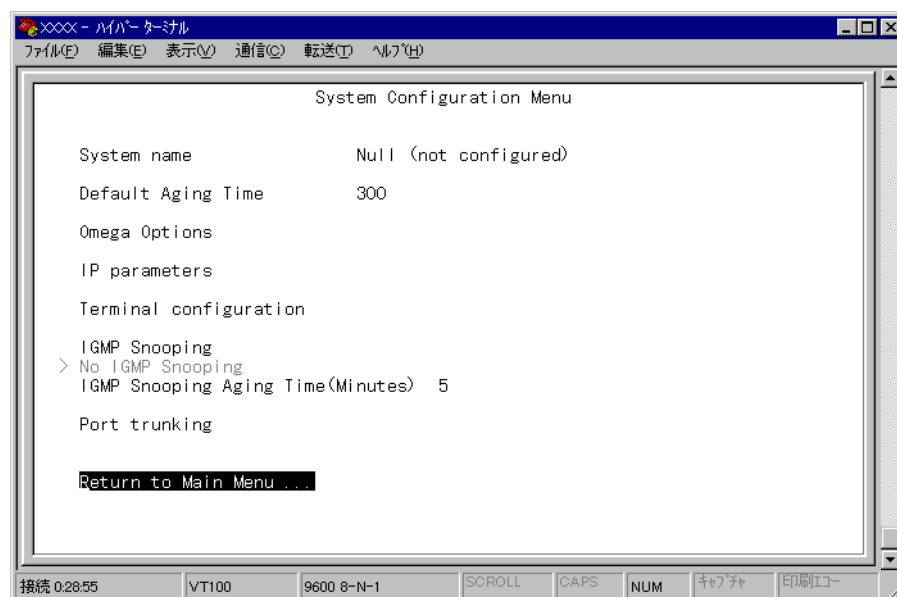
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1. 機能追加された項目




1.1 IGMPスヌーピング エイジングタイム設定(IGMP Snooping Aging Timeオプションの追加)

 参照「オペレーションマニュアル」2-50 ~ 2-51 ページ

本バージョンより、IGMPパケット専用のエイジングタイムを設定することが可能になりました。デフォルトは5(分)です。エイジングタイムを設定すれば、IGMP スヌーピング機能が有効な場合、設定した時間内にIGMPパケット(レポート・メッセージ)の送信がないマルチキャストパケット・ポートは自動的に削除されます。




IGMP スヌーピング エイジングタイムの設定手順

1. [Main Menu] -> [System Configuration] とすすみ、 を複数回押して、IGMP Snooping Aging Time(Minutes)の入力フィールドにカーソルを移動します。
2.  キーを押すと「->」プロンプトが表示されます。
「->」プロンプトに続けて1 ~ 9999(分)の半角数字を入力し、 キーを押します。

1.2 拡張モジュール AT-A15/SX・AT-A15/LX のインプリメント

ファームウェアバージョン 1.2.4J より、拡張モジュール AT-A15/SX・AT-A15/LX (1000BASE-SX/LX x 1 ポート) のインプリメントが可能になりました。

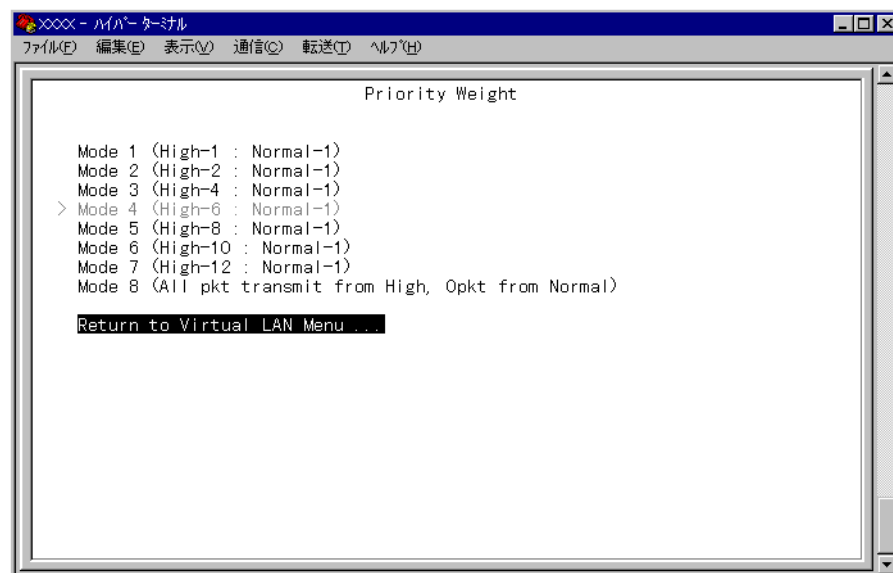
1.3 帯域保証の割合設定 (Priority Weight configuration メニューの追加)

 「オペレーションマニュアル」 2-76 ページ

ファームウェアバージョン 1.1.3J 以前は、プライオリティキュー High・Normal の帯域保証の割合は 6 対 1 の固定でしたが、1.2.4J より帯域保証の割合を 8 つの Mode より選択することが可能になりました。

帯域保証の割合の設定手順

1. [Main Menu] -> [Virtual LANs/Qos] -> [Priority Weight configuration] とすみ、次の画面を表示します。




2. 帯域保証の割合を Mode 1 ~ Mode 8 より選択します。デフォルトは Mode 4 (High-6 : Normal-1) です。
Mode 1 ~ Mode 7 のカッコ内の表示、「High- X (1, 2, 4, 6, 8, 10, 12) : Normal-1」は、High プライオリティキューのパケットを X 個送信後に Normal プライオリティキューのパケットを 1 個送信することを示します。
「Mode 8 (All pkt transmit from High, Opkt from Normal)」は、High プライオリティキューのパケットを全て送信後、Normal プライオリティキューのパケットを送信することを示します。

2. 本バージョンで修正された項目


本バージョンでは、前バージョン (1.2.5J) から下記の項目が修正されました。

2.1 ポートランキングについて

 参照「オペレーションマニュアル」2-52 ~ 2-54 ページ

ポートランキングを設定した場合、ある物理ポートのケーブルを抜き差ししたときに、学習済みのMACアドレスを再学習できないという問題を修正しました。これにより、ポートランキングに冗長機能が追加されました。

2.2 VLAN 名の表示について

 参照「オペレーションマニュアル」2-63 ~ 75 ページ


VLANの設定時に、複数のVLAN ID(ID)を設定した場合、VLAN名(VLAN Name)が正しくリスト表示されない場合がありますでしたが、これを修正しました。

3. 本バージョンでの制限事項


3.1 スタティック MAC アドレステーブルについて

以下の機能は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。


スタティック MAC アドレス表示 「All Static MAC Addresses」

 参照「オペレーションマニュアル」2-93 ページ


スタティック MAC アドレスの追加・消去 「Add MAC address/Delete MAC address」

 参照「オペレーションマニュアル」2-95 ~ 2-98 ページ

マルチキャストアドレスの追加・削除 「Add MAC address/Delete MAC address」

 参照「オペレーションマニュアル」2-100 ~ 2-103 ページ

スタティック MAC テーブルの消去 「Clear static MAC table」


 参照「オペレーションマニュアル」2-104 ページ

3.2 「MAC アドレス(Ethernet address)」によるシステムの指定方法について


下記オプションを選択した場合、ネットワーク上の他のシステムを指定する方法として「MAC アドレス(Ethernet address)」が表示されますが、「MAC アドレス(Ethernet address)」による指定はサポートされていません。

また、マニュアルにおいても上記指定方法が記載されていますが、未サポートとなっていますので、ご了承ください。


ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム) 「Update software in another system」

 参照「オペレーションマニュアル」2-22 ~ 2-23 ページ

リモートシステムへの接続 「Connect to a remote system」


 参照「オペレーションマニュアル」2-28 ページ

Ping テスト 「Ping a remote system」

 参照「オペレーションマニュアル」2-29 ページ

3.3 拡張モジュールについて

拡張モジュールを1枚のみ使用する場合は、上段のスロット(スロットA)に装着してください。

 「ハードウェア設置マニュアル」3-7 ~ 3-8 ページ

AT-A15/SX・AT-A15/LXをご使用の際は、GBIC モジュールの取り外し、他のGBIC モジュールとの差し替えはしないでください。他のGBICモジュールを装着した場合のサポートはしておりません。


3.4 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

3.5 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

3.6 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ


[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続し直してください。

3.7 1000BASE-X アップリンクポートのポートランキング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-52 ~ 2-54 ページ


1000BASE-Xアップリンクポートにおいて、ポートランキング機能は未サポートとなっております。

3.8 1000BASE-X アップリンクポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

C8224XLのソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

3.9 ポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品がミラーリングするパケットは次のとおりです。あらかじめご了承ください。

Source port から送信されるパケットをミラーリングします。

Source port で受信し、フォワード先のスイッチポートから送信されるパケットをミラーリングします。学習済みのユニキャストパケットについては、フォワード先のスイッチポートのタグ付き / タグ無し設定が Destination port にミラーリングされます。

また、Source port でシステム本体宛てに受信したパケット(Ping など)は、タグ無しパケットとしてミラーリングされます。